

## 2 - 1 重点事業評価

事業名 多様なニーズに対応できる情報サービスの充実
------------------------------

### (1) 事業の概要

- 対象  
子どもから高齢者・研究者まで、すべての年代の県民と本県に関心のある全国の人たち。
- 意図・目的  
子どもから子育て世代、高齢者まで、幅広い年代向けの資料を収集するとともに、新潟県に関する郷土資料及び研究者のニーズに耐える専門書の充実を図ることにより、更なる利用の促進を図る。
- 具体的取組の概要
  - ①暮らしと仕事に役立つ各情報コーナー（くらしガーデン、家庭と子どもの本、第2のオフィス、ユースなど）と課題解決支援文庫（人生節目の「3活」支援）の充実を図るとともに、関連する講演会や講座、各種展示などを開催することにより、県民の生涯学習や課題解決を支援する。
  - ②新潟県に関する郷土資料の収集保存と提供について、網羅的収集により受入冊数を増やすとともに、郷土人物・郷土作家コーナーを拡張するなど提供方法を工夫することで、更なる利用の促進を図る。また、郷土資料の一層の充実を図ることを目的として、収集に係る長期計画の策定について検討を進める。
  - ③県民の多様かつ高度・専門化する調査研究活動を支援するため、専門書・研究書の整備に努めるとともに、パスファインダーを充実させてホームページで公開するなど調査相談機能の更なる充実を図る。

### (2) 指標（本年度の目標）

項目（指標）	本年度の達成目標（数値）	実績
平成19年度以降に開設された各コーナー（こども図書室、ユース、くらしガーデン、家庭と子どもの本、CD、文芸、第2のオフィス、課題解決支援文庫）の合計貸出冊数	年間 320,000冊	316,670冊 (99%)

（平成27年度実績：318,388冊）

### (3) 事業評価（自己評価）

自己評価	B（99%）	1日平均の値では前年度を上回ったが、本年度の目標値にはわずかに及ばなかった。
------	--------	--

AA 目標が十分に達成された。 A 目標が達成された。

B 目標がある程度達成された。 C 目標の達成が十分ではない。

※評価 AA：105%以上 A：100～104% B：95～99% C：94%以下

項目	項目の解説	状況
必要性	利用者ニーズ又は図書館の使命や方針に照らして、妥当か。	県民の多様なニーズに応え、幅広い年代から利用されることは県立図書館としての重要な機能のひとつであり、指標設定は妥当であると考えられる。
有効性	期待される成果と実際の成果との関係。実績の向上がみられたか。	各コーナー全体の貸出冊数は通年では前年度比で若干のマイナスとなったが、1日平均では前年度を上回る（平成27年度1日平均943冊、28年度1,059冊）など、利用の促進に一定の成果があった。

効率性	事業計画に対する内容や量、業務の運び方、進捗管理の妥当性等。	利用者ニーズを踏まえ、社会的に関心の高い分野の資料等を積極的に収集・提供した。1月から導入した新システムでは、予約冊数の増加やシリーズ予約、返却期限通知メールや、詳細に条件設定できる新着本メール等を導入するなど、県民利用者の利便性向上に取り組んだ。
-----	--------------------------------	--

(4) 次年度の展開

方向性・問題点・改善点など
<p>県民の課題解決に資する図書館を目指して、引き続き利用者ニーズに合った資料を収集し、提供する。併せて、調査相談機能を一層充実させるとともに、ホームページ等を活用した情報発信に取り組んでいく。</p>

(5) 図書館協議会意見

<p>各コーナーの貸出冊数は、1日平均では前年度を上回っており、また、開館日数が前年度比で10日間少ないという状況を踏まえると、目標は達成されたといえる。協議会委員からは、「図書の展示コーナーが工夫されていて分かりやすい」「表紙の見える状態で配架されている図書も多く、馴染みのない分野の図書にも興味を持てる」という意見が出されている。引き続き、来館者の知的好奇心が高まるような書架づくりを期待する。</p> <p>郷土資料の網羅的収集に関して、協議会委員から、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県立図書館で収集していない資料についても、県内図書館で保存されている場合には、その所蔵館を明示するような仕組みも必要ではないか</li> <li>・ 寄贈を求める際には、（出版年の古い資料のみが対象であると誤解される場合もあるため）具体例を挙げるなど、対象となる資料の範囲を明確に提示する必要がある</li> <li>・ 県内で発生した災害等に関しては、当該自治体の図書館の求めに応じて、その状況を後世に伝えるような資料の収集・保存の支援に努めることも必要である</li> </ul> <p>という意見が出されており、今後の取り組みにおける検討を望みたい。</p>
--